交流と生活支援の双方を担う拠点と住まい整備による、永く暮らし続けるための地域づくり事業

国土交通省
令和3年度　選定提案
事業テーマ：課題設定型

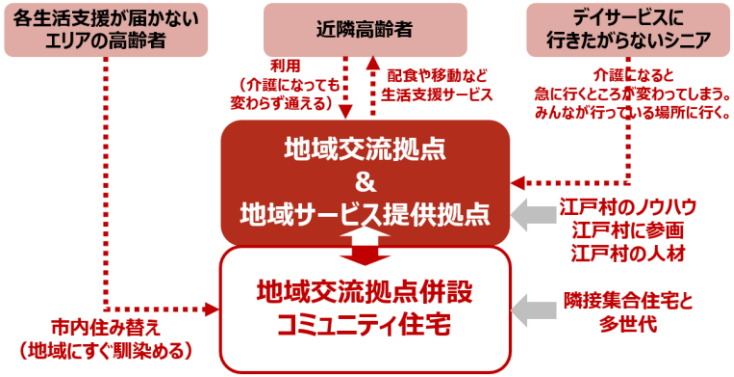
住宅や地域交流拠点の整備、エンターテイメント業の強みを活かしたプログラムの提供などを通して、高齢者が地域コミュニティの中で継続的に暮らすことのできる環境を創出する

- 本提案の対象地域は、地域包括支援センターのカバー圏域が非常に広く、一方で高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が多く、将来的には生活支援が十分に行き届かない可能性がある。高齢者の社会との関わりが希薄になり、孤立による介護度の重度化も課題。
- 本提案では、自立高齢者向けの住み替え先の住宅に併せて、コミュニティ食堂や健康増進施設（運動・温浴）、デイサービスをワンストップで利用できる地域交流拠点を整備し、高齢者が地域コミュニティの中で継続的・連続的に暮らすことのできる環境を創出。
- 整備する機能や既存のエンターテイメント業の強みを生かしたプログラム等についての検証、地域への生活支援サービス提供の仕組みの提供を行うほか、地域に永く住み続けるための情報発信も実施。

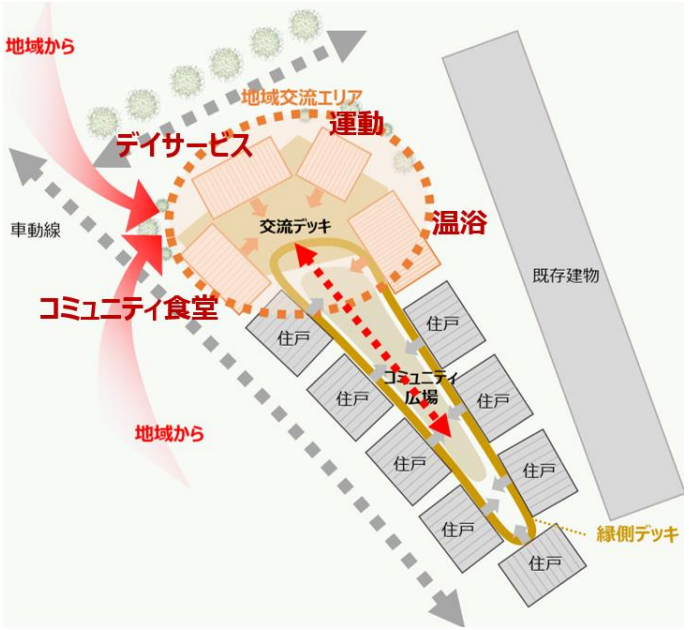
事業概要

代表提案者	株式会社江戸ワンダーウェルフェア
共同提案者	株式会社時代村、合同会社結楽
事業実施場所	栃木県日光市
事業実施内容	住宅の建設（2階建て、32戸）、住宅の改修（4階建て、10戸）、交流棟の建設（1階建て、コミュニティ食堂、健康増進施設（温浴・運動）、デイサービス）、地域への生活支援サービス提供の仕組みの検証、地域交流拠点の利用実態と満足度調査、永く住み続けられる地域をつくる会の開催、地域に永く住み続けられるための通信とガイドブックの作成と配布
事業実施期間	令和3年12月～令和5年6月

事業が目指すもの



平面計画



交流デッキの完成イメージ

住戸の完成イメージ

評価委員会での評価内容

- 既存住宅にコミュニティ機能を付加し、高齢者の住まいや生活支援とテーマパークを連携させるという提案は、話題性があり興味深い。
- 地域への生活支援サービス提供の仕組みの検証については、意欲的な課題設定であるものの、より実効性のある検証計画を遂行するためには、学識経験者をチームに加えるなどの実施体制づくりも望まれる。